

施工の流れ

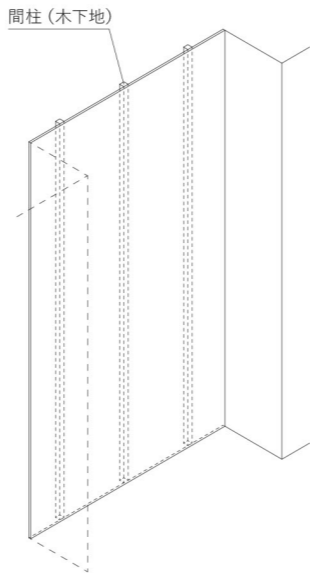
1. 下地材について

柱・間柱を下地材とし、MEDAS の棚柱ピッチを確認・計画してください。

[△施工上のご注意]

※必ず下地材のある場所に棚柱を施工してください。下地材がない場合、重さで壁ごとはがれ落ちる危険性があります。
※ピッチが間に合わない場合、幅 30mm 以上の木下地を柱・間柱に緊結するか、横架材と床下地に留め付けた下地材に施工してください。

※リフォームで施工する場合も、同様の下地材が必要です。



2. 棚柱の施工

①ワイヤー棚の幅に合わせ、棚柱ピッチを決めます。

②下地材のある位置に合わせ、57mm 以上の木用ビス（コーススレッド等）を、棚柱の全てのビス穴に打ち込みます。

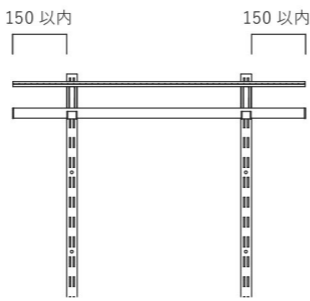
[△施工上のご注意]

※水平器などを使用し、棚柱の水平・垂直に注意して施工してください。

※ビスが緩んだ状態で、施工、各部材の取り付け・取り外しは行わないでください。

※ワイヤー棚をブラケットからはね出して納める場合、ブラケットからはね出しは 150mm 以内にしてください。（右図）

※ワイヤー棚の製品寸法個体差（±2mm 程度）により、製品規格寸法より 5mm 程度調整が必要となる場合があります。



3. ブラケットの取り付け

①ワイヤー棚を設置する場所にある棚柱の溝に、ブラケット基部上側の爪を先に引っ掛けます。

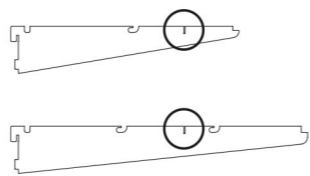
②そのままブラケットを下げ、ブラケット基部下側の爪が溝にはめ込まれていることを確認します。

4. ハンガーポールの取り付け

ハンガーポールを取り付ける場合は、必ずワイヤー棚を取り付ける前に行ってください。

①ブラケットのスリット（右図）に、ハンガーポール用フックを差し込みます。

②ブラケット 2 個にハンガーポール用フックを取り付けたら、フックにハンガーポールをカチッと音がするまではめ込みます。



[備考]

ブラケットのピッチとハンガーポール幅が同じ場合、及びハンガーポールを横に連結する場合は、ハンガーポールをフックの中心の位置にはめ込んで使用します。（この場合も強度・耐荷重に問題はありません）



5. ワイヤー棚の取り付け・取り外し

[△施工上のご注意]

※ワイヤー棚のブラケットへの取り付け・取り外しは、指を挟まないよう軍手等を装着してください。

※ワイヤー棚のブラケットへの取り付け・取り外しは、必ず片側のブラケット 1ヶ所ずつ行ってください。

※ワイヤー棚のブラケットへのはめ込みが固い場合、ゴムハンマーなどを使用し、ワイヤー棚・ブラケット等が変形しないようにしてください。

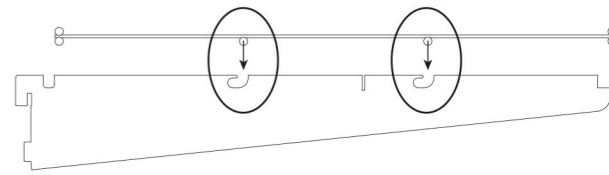
●ワイヤー棚の取り付け

①ブラケットが棚柱にしっかり接続されていることを確認します。

②ワイヤー棚の中央のワイヤー部分（D305：1本／D405：2本）をブラケット中央の穴に合わせ、ゆっくり指で下方向に押し込みます。

③押し込み続けると、奥にスライドするようにワイヤー棚がブラケットにはまります。

④反対側の取り付けも、同様に行います。



[備考]

※ワイヤー棚を横に連結する場合、1個のブラケットに 2枚のワイヤー棚の片側ずつをはめ込みます。

※ワイヤー棚を高い位置に設置する場合、低い位置でワイヤー棚をブラケットに取り付けた後、ブラケットごと高い位置まで持ち上げて、棚柱に接続してください。

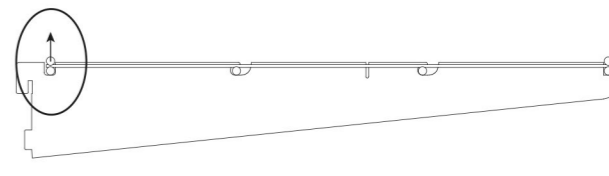
●ワイヤー棚の取り外し

①ブラケットが棚柱にしっかり接続されていることを確認します。

②ブラケットを押さえながら、ワイヤー棚の一番奥のワイヤー部分を持ち、ゆっくりと持ち上げます。

③持ち上げると、手前側にスライドするようにワイヤー棚がブラケットから外れます。

④反対側の取り外しも、同様に行います。



6. 作業後の確認

ワイヤー棚の取り付け・取り外し作業後、ワイヤー棚がブラケットに、ブラケットが棚柱にしっかりはめ込まれていることを確認してください。